

## 平成 28 年度奥州市病院事業報告書

### 1 概況

#### (1) 統括事項

##### ア 病院事業全体としての状況

平成 28 年度の病院事業は、市立 5 医療施設が組織統一して医療局を設置した 2 年目として、各病院・診療所の事務事業について、本部である経営管理部への集約を進めるなど、効率的な運営と適正な執行に努めました。

また、平成 28 年 3 月に改訂版を策定した、奥州市立病院・診療所改革プランに基づき、「医療提供体制」「業務運営体制」「経営基盤」の強化を図りながら、改革プランの達成に向けて職員が一丸となって取り組みました。

併せて、医師確保対策の強化を講じることで、前沢診療所及び衣川歯科診療所への医師及び歯科医師の着任を図り、休止していた前沢診療所を平成 28 年 5 月から再開するとともに、前所長退職後の衣川歯科診療所に新所長を迎えることができました。

なお、平成 29 年 1 月に新市立病院建設準備室を設置し、基本構想・基本計画にかかるコンサルタント業者の選定など、新病院建設にかかる準備・検討を進めました。

はじめに、収益に大きく影響する医師数は 32 人となっており、前年度と比べ 2 人の増となりました。更なる医師確保対策を継続するとともに、職員（医師を除く）の施設間における人事交流を拡大し、職員のスキルアップを図りながら、自治体病院として市民が安心して暮らせるよう、経営の質、医療の質の向上に努めます。

次に、経営状況として、入院患者数は 62,075 人（前年比 2,452 人減）、外来患者数は 166,924 人（前年比 2,546 人増）となっており、一日当たりの平均患者数は入院で 170.1 人（前年度 176.3 人）、外来で 686.9 人（前年度 676.5 人）となりました。一般病床利用率は 80.2%で、前年度の 83.2%から 3.0 ポイントの減となっています。

医療局としての収益的収入及び支出（税抜）について、医業収益が 3,860,756,431 円、医業外収益については 1,334,973,672 円となりました。このほか特別利益が 12,029,318 円で、病院事業収益総計は 5,207,759,421 円となりました。

支出については、医業費用が 5,047,313,304 円、医業外費用については 172,779,639 円、このほか特別損失が 2,190,939 円で、病院事業費用総額は 5,222,283,882 円となりました。

この結果、医業収支で 1,186,556,873 円の損失、経常収支で 24,362,840 円の損失となり、特別損益を含めた病院事業収支における純損益では、14,524,461 円の純損失となりました。

また、資本的収入及び支出（税込）については、収入は 140,706,200 円、支出は 219,256,691 円となり、収入が支出に対して不足する額は過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

## イ 医療機関ごとの状況

### (ア) 総合水沢病院

医師数は前年度と比較し、整形外科で1人増の合計20人となっています。入院患者数は46,535人で前年度と比較して1,876人(3.9%)の減となり、外来患者は87,476人で前年度と比較して1,476人(1.7%)の減となりました。

収益的収入(税抜)について、医業収益で2,734,502,145円、医業外収益は782,510,988円、このほか特別利益が11,379,080円で収益総額は3,528,392,213円となりました。

収益的支出(税抜)においては、医業費用で3,291,413,500円、医業外費用は93,963,066円、このほか特別損失が245,642円で支出総額は3,385,622,208円となりました。

この結果、医業収支では556,911,355円の損失、経常収支では131,636,567円の利益となり、特別損益を含めた純損益では142,770,005円の純利益となりました。

### (イ) まごころ病院

医師数は前年度と変わらず9人となっています。入院患者数は13,764人で前年度と比較して760人(5.2%)の減となり、外来患者は53,505人で前年度と比較して720人(1.4%)の増となりました。

収益的収入(税抜)について、医業収益で794,843,642円、医業外収益は199,512,592円、このほか特別利益が564,390円で収益総額は994,920,624円となりました。

収益的支出(税抜)においては、医業費用で1,102,161,264円、医業外費用は42,696,905円、このほか特別損失が646,109円で支出総額は1,145,504,278円となりました。

この結果、医業収支では307,317,622円の損失、経常収支では150,501,935円の損失となり、特別損益を含めた純損益では150,583,654円の純損失となりました。

### (ウ) 前沢診療所

医師の不在により平成26年8月から休止していた診療所の再開に向け、医師確保対策を講じた結果、新たに医師が着任し、平成28年5月から診療を再開しました。入院については休床としており、外来患者は5,256人で前年度と比較して3,678人(233.1%)の増となりました。

収益的収入(税抜)について、医業収益が48,567,464円、医業外収益が168,820,948円、このほか特別利益が66,930円で収益総額は217,455,342円となりました。

収益的支出(税抜)において、医業費用が206,822,028円、医業外費用は19,314,440円、このほか特別損失が186,275円で支出総額は226,322,743円となりました。

この結果、医業収支では158,254,564円の損失、経常収支では8,748,056円の損失となり、特別損益を含めた純損益では8,867,401円の純損失となりました。

(エ) 衣川診療所

医師数は前年度と変わらず1人となっています。入院患者数は1,776人で前年度と比較して184人(11.6%)の増となり、外来患者は13,684人で前年度と比較して168人(1.2%)の減となりました。

収益的収入(税抜)について、医業収益で221,705,336円、医業外収益は150,093,753円、このほか特別利益が6,100円で収益総額は371,805,189円となりました。

収益的支出(税抜)においては、医業費用で348,559,936円、医業外費用は14,093,511円、このほか特別損失が998,529円で支出総額は363,651,976円となりました。

この結果、医業収支では126,854,600円の損失、経常収支では9,145,642円の利益となり、特別損益を含めた純損益では8,153,213円の純利益となりました。

(オ) 衣川歯科診療所

医師数は前年度と変わらず1人となっています。平成28年度より新所長により運営しております。外来患者は7,003人で前年度と比較して208人(2.9%)の減となりました。

収益的収入(税抜)について、医業収益で61,137,844円、医業外収益は34,035,391円、このほか特別利益が12,818円で収益総額は95,186,053円となりました。

収益的支出(税抜)においては、医業費用で98,356,576円、医業外費用は2,711,717円、このほか特別損失が114,384円で支出総額は101,182,677円となりました。

この結果、医業収支では37,218,732円の損失、経常収支では5,895,058円の損失となり、特別損益を含めた純損益では5,996,624円の純損失となりました。